

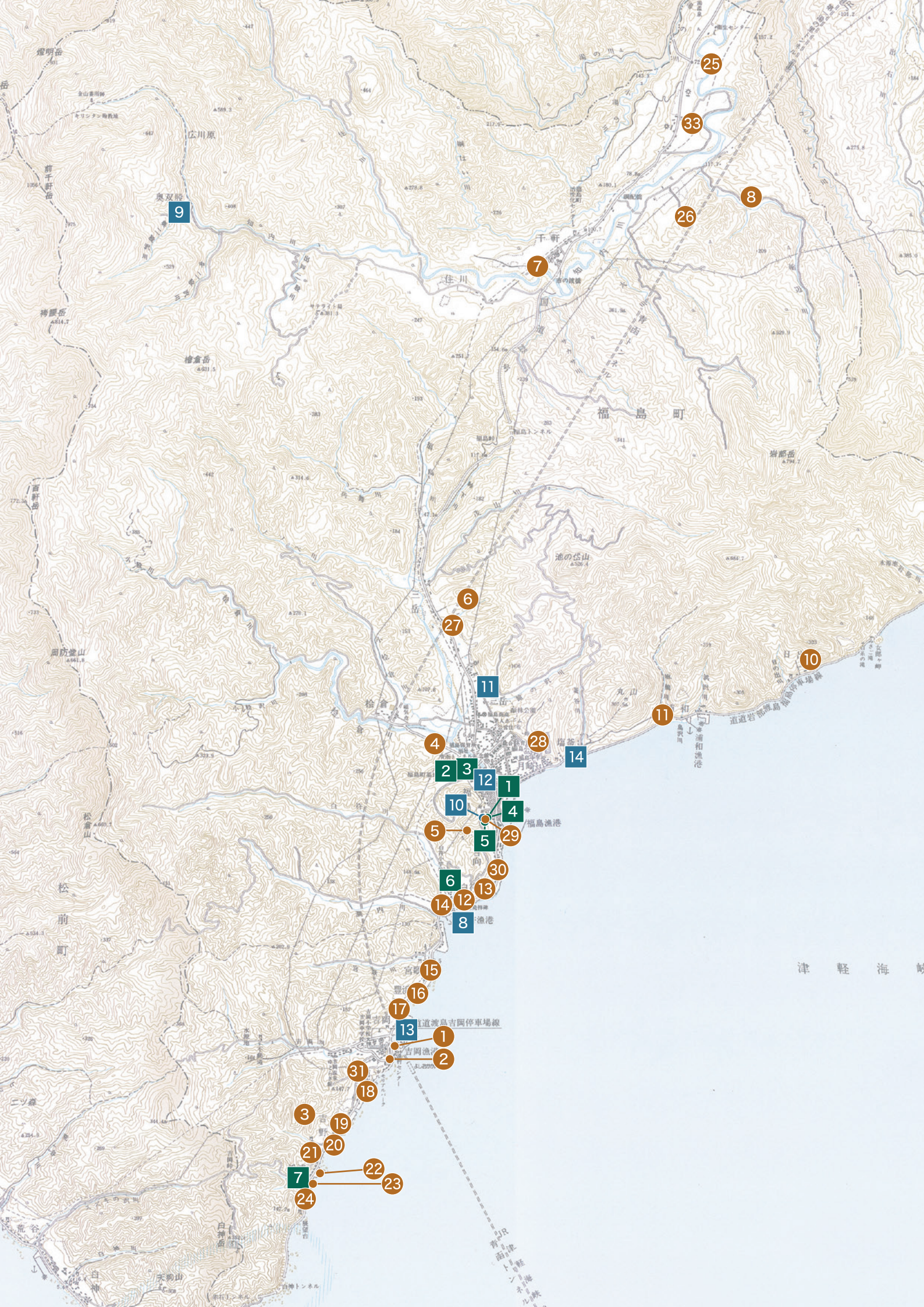
「祝詞舞」　平成24年度北海道連合会合同公演より

ふるさとの遺産を未来につなぐ

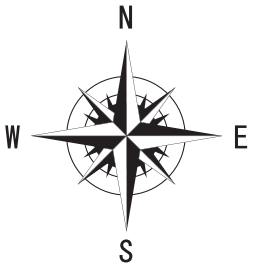
福島町の文化財

蝦夷地の歴史が始まった私たちのまちには
今でもたくさんの文化財があり
長い年月を経てなお
先人のくらしや思いを語りかけてくれます
私たちは郷土を築いてきた
祖先のこころや文化を大切に
後世に伝えていきます

北海道福島町教育委員会


福島町
千軒
住川
広川原
奥双胎
檜倉岳
松倉山
松前町
津軽海峡
福島漁港
吉岡漁港
吉岡
道渡島吉岡停車場線
道道岩部福島停車場線
JR青い森鉄道線
白神岳
天狗山
白神トンネル
福島トンネル
9
7
25
33
8
26
6
27
11
4
28
14
2
3
12
1
10
4
5
5
29
30
6
13
14
12
8
15
16
17
13
1
2
31
18
3
19
21
20
7
22
23
24
10
11





埋蔵文化財凡例	
1	穏内遺跡
2	館崎遺跡
3	蝦夷館山チャシ跡
4	桧倉川右岸遺跡
5	館古遺跡
6	権四郎沢遺跡
7	綱配野遺跡
8	縮辺川遺跡
9	岩部川左岸遺跡
10	日出小学校遺跡
11	浦和小学校遺跡
12	坊主沢遺跡
13	白符遺跡
14	白符保育所遺跡
15	宮歌遺跡
16	豊浜遺跡
17	吉岡遺跡
18	館崎２遺跡
19	吉野遺跡
20	吉野墓地遺跡
21	礼髭遺跡
22	与兵沢遺跡
23	松浦遺跡
24	折戸沢遺跡
25	松倉遺跡
26	二郎沢遺跡
27	福島川右岸遺跡
28	赤川奥沢遺跡
29	福島大神宮遺跡
30	日向遺跡
31	吉岡変電所遺跡
32	岩部川右岸遺跡
33	湯の野遺跡

文化財凡例	
1	松前神楽
2	宮歌村文書
3	円空作観世音菩薩像
4	神楽用獅子頭
5	福島大神宮祭礼行列
6	白符荒馬踊
7	松浦七福神舞

北海道事始め凡例	
8	漁業発祥の地
9	千軒金山遺構
10	子弟教育
11	新田開発事業
12	日本最初の種痘
13	吉岡灯明台跡
14	海峡間電信基地

町指定文化財



円空作観世音菩薩像
（文化財マップ3）

江戸前期の行脚僧円空が、寛文6年（1666）に当地へ滞在して彫った木像。鉈彫り観音として有名だが、本像は保存が良く、芸術的にも優れ、その形容から「来迎観音像」と呼ばれている。
・平成2年7月13日町有形文化財に指定。



神楽用獅子頭（文化財マップ4）

北海道無形文化財松前神楽に使用されるこの獅子頭は、文化4年（1807）に福島大神宮氏子らの寄進によるもので、松前神楽の歴史的変遷を裏付ける重要な資料。
・平成7年11月3日町有形民俗文化財に指定。

福島大神宮祭礼行列
（文化財マップ5）

京風の芸術的影響を受けた開拓初期の松前文化の特色を備え、古式や由来がそのまま表現されている。行列の先行を務める四ヶ散米行列は、他に類例のない当地特有のものである。
・昭和43年11月3日町無形民俗文化財に指定。





（写真は平成24年祭礼行列より）



白符荒馬踊（文化財マップ6）

鰊漁が盛んだった時代の白符七夕行列は、殿額灯籠を連ねた後に荒馬踊、杵振舞、棒振舞、ヤセヤセ踊の行列が続いた。荒馬踊りは、松前藩の武威を表す郵送で独特な駒踊である。
・昭和43年11月3日町無形民俗文化財に指定。
（写真は平成17年小中学生による演舞）

その他の文化財



松浦七福神舞（文化財マップ7）

昭和の初期に吉野八幡神社に250年祭で公開されたのが始まりであるとされているが、伝承については、明治初期に青森県の住人が松浦地区へ移住した時に伝えられたといわれる。（写真は平成23年高齢者学級での演舞）

北海道事始め

漁業発祥の地（文化財マップ8）	文安4年（1447）陸奥国の馬之助が鰊漁を行ったと記録
千軒金山遺構（文化財マップ9）	元和2年（1616）松前藩3代目藩主公広が金山を開いた。遺構が奥二股沢を中心に数多く残されている。
子弟教育（文化財マップ10）	慶安2年（1649）笹井家初代今宮（現常磐井家）が村内の子弟を集め学問を教えたのが私塾の始まり。
新田開発事業（文化財マップ11）	元文4年（1739）松前藩は農業施策として福島と大野に新田開発を行った。北海道における公的な造田事業の始まり。
日本最初の種痘（文化財マップ12）	文政7年（1824）中川五郎治が松前藩の要請により、日本最初の種痘（牛痘）を福島において行ったとされる。
吉岡灯明台跡（文化財マップ13）	天保10年（1839）吉岡港へ大河京三郎が構築した「油灯明台」が北海道における灯台の最初である。
海峡間電信基地（文化財マップ14）	明治7年（1874）に青森県今別と当町（現在の塩釜）に海底架線敷設。北海道と本州を結ぶ初の有線電信。



「八乙女舞」平成24年度北海道連合会合同公演より



「獅子舞」平成24年度北海道連合会合同公演より



「七五三祓舞」平成24年度北海道連合会合同公演より

北海道指定文化財

松前神楽（文化財マップ1）

神社の祭祀として行われる神楽が、北海道開拓期の藩政時代に独特の発達を遂げ、三十三神事にまとめられ、各社家によって伝承された。蝦夷地鎮定、怨霊退散、五穀豊穣、天下泰平などの祈願をこめ、社殿神前での奏上を本式とするが、のち公民館の祭場においても舞われるようになった。

・昭和27年に町指定無形文化財として指定。
・昭和33年４月12日北海道で最初の無形文化財に指定。
・平成７年11月８日国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択される。
・平成20年４月５日最後の伝承者の死亡により、北海道無形文化財の指定解除。
・平成20年６月９日北海道無形民俗文化財に指定。

宮歌村文書（文化財マップ2）

明暦２年（1656）から明治22年（1889）までの233年間の宮歌の歴史。
村名主・書役等により記述されたものを宮歌八幡神社に保存していた。道の文化財指定に合わせ現在は町教委で保管している。

・平成16年９月22日北海道有形文化財に指定。



写真は「永代之記録」

【北海道教育委員会指定時の解説文】

宮歌村は、江戸で幕府の旗本となっていた松前八左衛門家の領地であった。ここでは、松前在住ではなく、江戸在住の松前家の領地であるという、江戸時代の北海道にあっては、特別な条件の下で村の運営が行われており、そのことに伴う近隣村との警戒などの問題が大変特徴的なものとなっている。文書には、村が毎年、江戸まで奉公人を出したり、荷物を届けたり、日常的に松前在住の藩主、家臣側との関係を適切に保つなど、複雑な行政実務を行っていたことなどが記載されている。



（写真は平成24年祭礼行列より）



交通アクセス（函館～福島　片道）

・自動車（国道228号線）　　約２時間
・路線バス（函館バス）約２時間30分

福島町の祭り・イベント

・５月・10月……殿様街道探訪ウォーク
・５月（母の日）女だけの相撲大会
・７月 ……かがり火コンサート
・８月 ……やるべ福島イカまつり
・９月 ……福島大神宮例大祭
・10月 ……カントリーフェスティバル
・11月 ……南北海道駅伝競走大会

平成25年３月

北海道福島町教育委員会編集

〒049-1392 北海道松前郡福島町字福島820番地
TEL0139－47－3675／FAX0139－47－3947